

高い期待を背景に、ブラジル大統領就任

ブラジル通貨リアルは米国金利動向など海外要因と、政治動向など国内要因が変動を左右する傾向が見られます。リアル安はインフレ率上昇を伴う傾向があり、仮にインフレ率が上昇すれば消費を抑制することも懸念されます。海外要因はさておき、ブラジルの国内要因、特に政治動向のポイントを述べます。

ブラジル大統領就任：右派のボルソナロ大統領誕生

ブラジルのジャイル・ボルソナロ氏が2019年1月1日に議会で宣誓し大統領に就任しました。過激な発言やポピュリスト(大衆迎合政治家)的姿勢で「ブラジルのトランプ」と呼ばれることもある一方、ブラジル政界に広がる汚職の撲滅や悪化の一途をたどる治安の回復への期待が高まっています。

過去の過激な発言の中には差別的な発言も含まれており、物議を醸してきたボルソナロ氏ですが、就任演説では「差別や分裂のない社会を建設する」と述べています。

どこに注目すべきか？

リアル、インフレ率、閣僚人事、年金改革

ブラジル通貨リアルは米国金利動向など海外要因と、政治動向など国内要因が変動を左右する傾向が見られます(図表1参照)。リアル安はインフレ率上昇を伴う傾向があり(図表2参照)、仮にインフレ率が上昇すれば消費を抑制することも懸念されます。海外要因はさておき、ブラジルの国内要因、特に政治動向のポイントを述べます。

結論から述べると、ボルソナロ大統領への期待は高まっていると見ています。年金改革など難問に取り組むことが期待される同政権にとり、世論の支持は追い風と見られます。ただ、期待の裏返しとしてあえて懸念材料を述べるならば、議会との対話などに気がかりな点もあります。

ボルソナロ大統領の就任演説では、汚職撲滅などへの意気込みは高い一方、構造改革など財政政策の詳細は多くを語っていないなど、不透明な面は見られますが、それでも、既に公表された主要閣僚の指名メンバーの顔ぶれから、改革への期待が高まっています。昨年10月の決選投票におけるボルソナロ氏の得票率は55%程度でしたが、足元の世論調査では7割以上が新政権への期待を示しています。では、具体的に何が支持を引き上げたのか？

例えば、年金改革への期待としては、下院議長に年金改革やビジネスフレンドリーとして知られるロドリゴ・マイア(Rodrigo Maia)議員の下院議長への再任支持が考えられ

ます。議長の選出は議会が開始される2月となりますが、現地の報道などによると、マイア氏選出について既に200近い議員の同意を固めた模様です(下院定数は513)。

汚職撲滅への対応も世論の支持を高めたと見られます。例えば、汚職撲滅で有名になったモロ(Moro)氏を法務大臣に指名しています。

ボルソナロ大統領の閣僚人事の傾向は、人物本位で新鮮です。ただ、あえて懸念を述べれば、政党力学(政党に所属する議員の数)に対する配慮が見られない点は気がかりです。ブラジル議会は30程度の政党に分かれ、政策を具体化するには連携や連立が求められます。政党力学への配慮に不安のある閣僚人事が議会運営においてボルソナロ大統領の足かせとなる可能性も考えられます。

どこに注目すべきか？ 目先は2月にマイア議員が下院議長に決まるかが注目されます。次に、19年中頃に本格化すると見られる年金改革の議論の行方に注目が必要です。

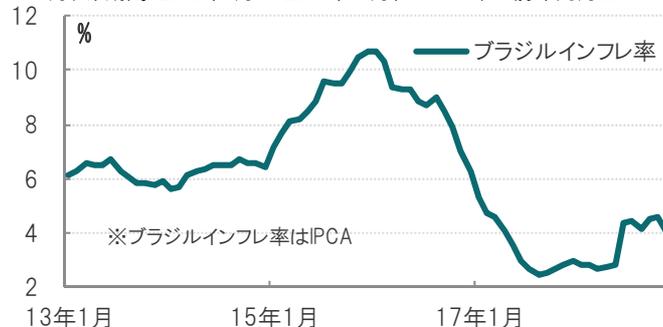
図表1：ブラジル政策金利とリアル(対ドル)レートの推移

日次、期間：2013年1月7日～2019年1月7日、政策金利はSELIC



図表2：ブラジルのインフレ率の推移

月次、期間：2013年1月～2018年11月、インフレ率は前年同月比



出所：ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。